

2012年、大島新一郎氏が天下茶屋湿地の葦群落に片葉の葦を見つけ片葉葦保存会を立ち上げて以来、鞆公園自然研究会のご協力による初の昆虫植物調査、そして大阪市立自然史博物館のプロジェクトU調査地の一つにこの工程を経て、私たちは思っていた以上にこの天下茶屋湿地が希少なものであるという事に気づきました。

そして、ともすれば緑が少ないと言われる大都市大阪にとっては、生物多様性保持と言う観点から見て大切であることは言うに及ばず、清水が湧き葦の群落があったという古来大阪の歴史風景を今に伝える貴重な場所でもあるのではないかと考えています。

しかしここは現在、財務省近畿財務局の売却地となっており、いつ失われるかもしれません。

この湿地を子供たちに伝えていけるよう、片葉葦保存会では、この土地の希少性、重要さを一人でも多くの方に知っていただきたいと願っています。

参加に当たり、資料・情報・写真そしてご指導ご協力を賜りました皆さま方に、

深く感謝いたします。ありがとうございました。

+植物リスト1及び記述内容

・長谷川匡弘・藤井俊夫・佐久 間大輔

大阪市西成区の住宅街の中に 残る「湿地」～生育する植物相の報告～

\*Nature Study (2014) 60(8):2-5 より引用

+片葉の葦、ガマ三種標本写真

・大阪市立自然史博物館 第45回 特別展 都市の自然 天下茶屋湿地、展示より撮影

+植物リスト2

・梅岡宏史：鞆公園自然研究会より提供

+昆虫リスト及び写真

・奥野 清三 辻井隆昭：鞆公園自然研究会より提供

(敬称略)

編集：片葉葦保存会 (担当：磯上慶子 富澤 裕美子)

HP：<http://katahanoashi.sblo.jp/>

FB：<https://www.facebook.com/naniwanokatahanoashi>